

新中版 新しい生活様式

大切なのは **強い意識** と **継続すること**

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

- 人との間隔は、できるだけ2 疋（最低1 疋）空ける。
- 昼休みに遊ぶなら教室や体育館より屋外を選ぶ。
- 会話をするとき、できるだけ真正面は避ける。
- 給食時以外は常にマスク着用。
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐ着替える。
- 毎日入浴もしくはシャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う。
- 登校時は必ず手指消毒をする。
- 特別教室の入室前と退室後は必ず手を洗う。

感染防止の 3つの基本

- ①身体的距離の確保
- ②マスクの着用
- ③手洗い感染防止

(2) 学校生活を営むうえでの基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 身体的距離の確保
- 毎朝の体温測定、健康チェック
- 咳エチケットの徹底
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 発熱や風邪の症状がある場合はムリせず自宅療養
- こまめに教室の換気

(3) 学校生活各場面の生活様式

<授業>

- 座席は1～2疋離す。
- 基本的に全員が同じ方向を向く。
- 常に換気扇を運転する。
- 休み時間は窓と扉を開けて5分間強制換気を行う。
- 体の接触を伴う学習や大きな声を発する学習は当面控える。

<給食>

- 手洗い等で並ぶときは前後左右の間隔を空けて待つ。
- 手洗いで待つときや給食の配膳、片付け時、喫食時間は私語をしない。
- 喫食中に出るくしゃみの時に口を覆うためのハンカチを用意する。

<休み時間>

- トイレ待ちで並ぶときは前後左右の間隔を空けて待つ。
- トイレは常に換気扇を運転する。
- トイレを使用しない時はできるだけドアを開けておく。

<部活動>

- 練習前の手洗い、練習後の手洗いうがいを必ず行う。
- 人との間隔をとる工夫を行う。（ネットや卓球台の置き方、練習時の間隔）
- 身体接触がないメニューで活動する。
- 大声を出すことを控える。

<集会など>

- 人との間隔を十分空ける。
- 換気システムを常時稼働する。
- 集会の時間は30分以内で行う。
- 入退場の際の人との間隔を十分空ける。

<スクールバス>

- マスクを必ず着用する。
- できるだけ会話を避ける。
- できるだけ席を空けて座る。

自分とみんなを守るために 今私たちができること